



謹んでお見舞い申し上げます

このたびの東北大震災の犠牲となられた方々に対し、謹んでお悔やみ申し上げます。一日も早い復興、そして安心安全な生活を送れることを祈念いたしております。

ニュースの発行は年4回の季刊紙へと変更となりました。今後ともよろしくお願いたします。

医療法人社団 札幌皮膚病理診断科 を設立しました

2009年4月に衛生検査所から診療所へと生まれ変わった札幌皮膚病理診断科が、2011年4月、医療法人となりました。臨床医と患者様のパートナーとして、これまでと変わらずこれからも正確な病理診断書・報告書をいち早く届けてまいる所存です。今後ともご指導ご鞭撻の程をどうぞよろしくお願いいたします。

法人名称 医療法人社団 札幌皮膚病理診断科 代表者 理事長 木村 鉄宣
開設診療所 札幌皮膚病理診断科 診療所住所 札幌市北区北18条西3丁目2番21号

診断医のご紹介

2名の常勤医師が病理診断を担当しております。

理事長 木村鉄宣



北海道大学医学部卒
皮膚科専門医
1978年から皮膚病診療に従事。A. B. Ackermanに師事し皮膚病理診断学を学ぶ。
2001年に札幌皮膚病理研究所を開設し、皮膚病理診断業務に従事。2009年札幌皮膚病理診断科を開業。北海道大学医学部 非常勤講師（病理学）。Journal of the Philippine Dermatological Society編集委員。

副院長 阿南 隆



大分医科大学医学部卒
皮膚科専門医
大分医科大学、大分大学医学部附属病院助手、国立病院機構別府医療センター皮膚科医長を歴任。
2009年6月より当科で研修医として皮膚病理診断学の研修を始める。2010年9月より診断医として当科にて病理診断に従事。

診断体制のご紹介

1日に100~200件ほど届く病理診断依頼。正確な診断をするために診断システムの工夫をしております。

◆Telepathology system

バーチャルスライドを利用したTelepathology systemを構築し、遠方の医師による一次診断や、電子メールを利用したカンファランスの機会を設けています。Telepathologyの正確性についてはまだ確定されていないため、ガラス標本を用いた診断の再チェックも医師の手で行っています。多くの医師と意見交換することにより、より正確な診断へと近づきます。

◆事務職員のバックアップ体制

診断をスムーズに行うため7名の事務員が全面的にバックアップしています。臨床検査技師2名が所見内容のチェックを専門的に行うことで、所見の誤字脱字から臨床情報との照合などを確認し、ミスを防ぐ体制を作っています。また、データ入出力にはベテランの事務員が対応し様々な要求に応える体制も整っています。

◆安心・安全

お預かりしたガラス標本は、事務員の手によりデータ入力し診断へと渡ります。依頼書などの臨床情報もデジタル化し内部ネットワークで管理することにより、個人情報保護にも重点を置いています。また、緊急の対応が必要な場合には素早く臨床医へコンタクトをとったり、お問い合わせがあれば治療方針や患者への対応などのアドバイスも行っています。

発行：札幌皮膚病理診断科

〒001-0018 札幌市北区北18条西3丁目2-21 TEL: 011-756-4810 FAX: 011-756-4842
e-mail: office@sapporo-dermpath.com website: http://www.sapporo-dermpath.com

編集担当：高野 敦子